

# どがなかな 大田市です!

各国高級車  
持約店  
森山自転車店  
修理・販売

## Contents

- 2-3P 田舎体験ツアー
- 4P “おおだ”の新しい魅力～リニューアル
- 5P 定住推進員だよりVol. 4
- 6-7P 美味しい“ぶどう”をお届けします
- 8P 地域医療崩壊の危機 -地域医療レポート-
- 9P シリーズ新石見銀山⑬ / ちゃんぽし語録④
- 10-11P おおだ情報BOX / 道の駅『ロード銀山』
- 12P ふるさとは今 (浮布池) / 表紙紹介 (温泉津温泉街)

大田市ふるさと情報誌

# VOL.15

2010.6

龍御前神社 (温泉津町温泉津) 付近



“おおだ”の魅力を体験!

# 田舎体験ツアー

6:50	広島駅出発
10:00	子ご美の里着
10:20	こんにやく作り
12:00	昼食交流
13:00	田植え体験
15:20	子ご美の里発
18:40	広島駅到着

5月2日(日)、山口町佐津目の『子ご美の里』で田舎体験ツアーを開催いたしました。  
当日は、広島から11組24人の皆さんが参加され、抜けるような青空の下、こんにやく作りと田植えを体験しました。



## 大田市へようこそ

この田舎体験ツアーは、都市に暮らす皆さんに大田市の豊かな自然や田舎暮らしの魅力を伝えることで、参加者に大田のファンになっていただき、交流人口の拡大を目指し、ひいては定住促進に繋げていく目的で開催しました。  
当日は、山口町で田舎ツアーを進める「子ご美会」(矢田千里代表)と定住人口の増加を進めるグループ「石見織人こむしこむさ」(中島浩司代表)の協力により、大田市が今回初めて実施したものです。  
市では、今後もこのような取り組みを進め、都会と田舎の住民とが交流を深めるなかで、田舎の存在意義や価値を共に理解し共有できることを目指しています。

### ★こんにやく作り体験★

地元の皆さんが講師となり4班に分かれて、作業を行いました。事前に茹でて一口大にしたこんにやく芋と炭酸ソーダをミキサーにかけ、かき混ぜたあと、大きな鍋で加熱する工程を体験しました。出来上がったこんにやくは、茹でてそのまま刺身にして昼食に美味しくいただきました。



▲ソーダの容量を測って混ぜ合わせます

### こんにやく作り体験

当日は、朝早く広島からバスで出発し、約三時間かけて『子ご美の里』(山口町)へ到着しました。  
竹腰市長の歓迎のことがばの後、早速、班に分かれて「こんにやく作り」に入りました。



▲大きな鍋で茹でる作業は大変です

参加者のほとんどは、こんにやく芋のことや、どんな風に作られていくのかわからないばかりでしたが、混ぜる作業から丸める作業、大きな鍋で茹でる作業を地元の人と一緒に楽しく料理をしていました。



▲混ぜるには、結構力もいるみたいです

### 昼食交流での盛り

午前中の作業の合間には、近くの山を散策しながら山菜採りをしたり、のんびりと散歩をする人の姿も見受けられました。  
そして、待ちに待った昼食の時間です。採れたてのたけのこやふき、しいたけなど地元の自然の恵みを美味しくいただき、炊き込みご飯のおかわりをする人もいました。



▲本格的な踊りにご満悦の皆さん

露があり、参加者もこのサプライズに大感激で、拍手を贈っていました。

### 田植え体験に感動!

また、休憩時間には、地元の方から「どじょうすくい踊り」や「安来節」の披露

続いて、午後の部の「田植え体験」です。地元の方が、5時

の田んぼに苗の植え付け位置の線引き(当地では、「ばば引き」といいます。)をしてくれた場所に植え付けていきます。

田んぼの中に入る人は、日焼け予防の帽子や手ぬぐいを羽織ったり、短パン姿に着替えたり、様々な格好です。

農家の皆さんの手ほどきを受けて、苗を手に恐る恐る田んぼの中へ。「ワー!」という歓声や「気持ちいい!」という声上がる中、田植えに汗を流しました。

この日は、天候も良く、田んぼの湯加減?は最高!中

一日の時間が過ぎるのは早く、田植え後の手足の汚れを流しながら、「こんな体験が出来てよかった」と感動する人。用意した露天風呂(五右衛門風呂)に入り汗を流す人もいたり、帰宅の準備です。  
最後には、地元の皆さんも一緒に集合して、参加者の皆さんとお茶を飲みながら、一日の体験談を聞きました。  
一様に参加者の皆さんは、「来てよかった!」、「今日は、癒された!」という感想でした。  
大田市では、今後もこのような取り組みを計画

### またの体験を楽しみに

には、膝まで泥にはまりながら進む人もいたり、今回初めて体験する参加者の多い中、地元農家の方も驚くほど手際よく一時間余りで、作業が終了しました。

していきます。  
次回は、秋に予定をしていますので、興味のある方はご参加ください。



- ★ お昼ごはん ★  
<メニュー>  
・炊込みご飯  
・煮しめ盛合せ(たけのこ、わらび、ぜんまい、ふき、しいたけ、人参、油揚げ)  
・手打ちそば  
・天ぷら(雪の下、こごみ、サツマイモ)  
・手作り豆腐  
・セリのお浸し  
・漬物



▲恐る恐る田んぼの中へ入ります



田植えの状況とその一コマです

【問い合わせ】大田市役所まちづくり推進課 ☎ 0854-82-1600 (内線211)



### 国民宿舎さんべ荘

平成22年4月1日から指定管理者制度により、「国民宿舎さんべ荘」(株式会社さんべ開発公社…代表細田年成)としてスタートしました。

こんこんと沸き出る三瓶温泉は、全国でも有数の湧出量で知られています。さんべ荘に数種類ある露天風呂は、すべて『源泉かけ流し』の天然温泉で快いひとときを楽しむことができます。

また、正面玄関前には、足湯もあり、登山や観光等



自慢の露天風呂

の疲れが癒されます。日帰り入浴もOK。三瓶山の大自然に囲まれた温かなおもてなしの宿で、くつろぎの時間と空間を提供されています。

### 大森の町並み

世界遺産・石見銀山遺跡内にある大森の町並みの歴史的景観を整備することを目的として、電線・電柱の地中化が行われ、今年3月末に完了しました。

地中化した区間は、代官所跡付近から石見銀山公園入口駐車場付近までの約970mです。

この工事に併せ、街路灯も懐かしさの残る木柱を使用し、景観へ配慮しています。また、大田市が誇る地下資源「福光石」を用いて側溝を整備し、電線埋設後の舗装には、廃棄予定の石州瓦を舗装材として利用し、より趣のある町並みとなりました。



地中化後の大森の町並み

### 国民宿舎さんべ荘

☎0854-83-2011

- ホームページ <http://www.sanbesou.jp/index.html>
- 料金 1泊2食付 8,000円～
- 日帰り入浴 大人500円、小学生300円  
幼児(3歳以上) 100円

### 銀の里渡辺家・咄々庵

国指定史跡「渡辺家」が4月29日(木)から、「銀の里渡辺家・咄々庵」としてオープンしました。

渡辺家は、代官所に勤めていた役人の遺宅で、江戸時代の武家屋敷が復元されています。門をくぐると、主屋があります。咄々庵の営業時間内は自由に見学できますが、午前10時から11



銀の里渡辺家・咄々庵

時までの一時間は、座敷にあがっての見学が可能です。当時の様子を見ることができ、(観覧料は無料)

このたび、その主屋の奥に、会席料理や揚げたての天ぷらを楽しむことができます。咄々庵が新設されました。

目の前で揚げられる天ぷらは、地元で仕入れた旬の野菜を使っており、食材へのこだわりを感じることができます。

自然と静かな佇まいの中で、季節の移り変わりとともに、こだわりの料理を五感でたっぷり感じる空間です。

### 銀の里渡辺家・咄々庵

☎0854-89-0205

- ホームページ <http://www.iwami-ginzan.co.jp/watanabeke/index.html>
- 営業時間 10:30～21:00 年中無休  
(平日のみ) 10:30～15:30、16:30～21:00

“帰省の際には、新しい“おおだ”の魅力を感じ、是非お立ち寄りください。

## ようこそ！ おおだへ

大田市には、田舎暮らしに憧れて、都会から移住された方がいらつしやいます。なぜ、全国から「大田市」に住むことを決めたのでしょうか？

今回は、横浜市より大屋町へイターンされた伊藤正人さん（63歳）をご紹介します。

東京生まれの伊藤さんは、30歳を過ぎた頃から横浜で暮らしていましたが、平成21年9月に長年勤めた会社で終止符を打ち、同年11月に大田へ移住されました。



「なぜ大田市を定住先として選択されたのですか」との問いに、少し長くなりまして前置きされてから話していた。

「40歳前

半の頃、転勤先の札幌で仕事をしていた。釣りが趣味で釣具店に立ち寄った時に、店主が島根県の江の川へ尺鮎を釣りによく行くという話を聞き、自分もいつかは江の川へ釣りに行きたいと思っていました。

ようやく3年前に念願の江の川へ釣りに行く事ができました。残念ながら、尺



伊藤さん(中央)とご近所の松岡夫妻

鮎は釣れませんでした、釣りを楽しむことができませんでした。

以前から、田舎での暮らしを考えていたので、その日の帰りに「(財)ふるさと島根定住財団」に立ち寄り、相談をしました。そこで大田

市を紹介したところ、二度目に大田市に来られた際には移住を即決されました。

それまで雑誌を片手に京都府綾部市や長野県小諸市なども定住先として見て回ったそうです。

伊藤さんは、定年後の人生を目的もなく過ごすのではなく、これからの人生を充実して過ごしたいと考えておられます。

「自然に囲まれた環境の中で、隣に住んでいる松岡さんご夫婦(上写真)のお手伝いをしながら、農業の勉強をしたり、大好きな釣りをしたり、(近所迷惑にならないので)防音の要らない部屋でチェロを弾いたりしながら、田舎暮らしを満喫したい」と話されました。

また、地区の皆さんや大田市のために何か役に立つことがあるのではないかと、地域のためにできることを探して毎日をごっこしているそうです。

横浜にいる娘さんとお孫さんが、近くこちらに遊びに来られるそうです。おじ



野菜づくりに挑戦している伊藤さん

いちやんの伊藤さんも首を長くしてその日を楽しみにしています。

最後に、「近隣は高齢の方が多くけれども、都会の同年代の人と違うのは、皆さん元気で、目が輝いていると感じます。自分の選んだ選択は間違いではありませんでした」と力強く語ってくれました。

### 取材を終えて

伊藤さんは、ご近所付き合いを大切に、地域に溶け込んでいらつしやいます。やはり田舎暮らしを充実したものとするためには、地域の活動に参加したりする中で、地域との繋がりを大切にする事が重要だと改めて感じました。



# 美味しい「ぶどう」をお届けします。



## 大田市ぶどう生産組合

### 大田市はぶどう産地

大田市ぶどう生産組合は、鳥井町を中心とした12戸の農家の皆さんが、540㎡でぶどうを栽培しています。歴史のあるぶどうの産地で、親子3代にわたりぶどうを生産している農家もあります。また、20〜40代の青年の多い、とても元気な組合です。

栽培しているぶどうの品種は、テラウエアを中心に、巨峰、ピオーネの大粒系も栽培し、全体で約40トンを収穫しています。

近年は、鮮やかな紅色のゴルビーや新品種であるシャインマスカットにも取り組んでいます。

### 地域とともに

今年から、この大田市ぶどう生産組合の舵取りを任されたのが、有吉誠志さん（51歳・下写真）です。



有吉さんが妻の由美子さんと鳥井町で就農したのは、平成9年のこと。大田市にゆかりのないイターンで、市内では先駆者的なイターンでの就農者です。現在は、82㎡でぶどうを栽培しています。若き組合長の有吉さんは語ります。  
『新規就農者として、この地に移り住み、ぶどう栽培を始めて13年目になりました。周りの方々に支えられ、励まされここまで来ることができたことを心より感謝する毎日です。』  
さて、大田市ぶどう組合には、ベテランの生産者に加え、しっかりとした後継者の若者が育ってくれています。新品種への取組みも彼らが中心となって活気を帯びてきています。「大田

### 産地のバトン

近年、全国的に「農業」は高齢化、担い手不足が進み、大田市では、その状況が顕著に現れています。

大田市ぶどう生産組合でも、高齢化は進みつつありますが、新たな担い手である後継者が次々と育っています。

ぶどうの産地を「地域で支える」、「地域で守る」意識が高いことが、その要因です。

産地を支えてきた先人に対する尊敬の思いの強さや産地を継承し拡大を目指す若者への思いやりの深さが、組合を支えています。こんな情熱的な農家の皆さんが丹精込



この大田市ぶどう生産組合に新たな仲間が増えました。今年から新たに就農した小野健さん（25歳・左写真）です。

### はじめの1歩

のぶどう」も彼らの輝きを受けて更に実り豊かになっていくことでしょう。消費者の皆さんに喜んでいただける、高品質のぶどうをより多く出荷できるように、更なる努力を重ねている日々です。これからも大田のぶどうをよろしく願います。』

小野さんは、県立農業大 学校卒業後、県農業技術センターでぶどう栽培を学び、両親の築いてきたぶどう園69㎡を引き継ぎ、農業経営を始めました。小野さんの熱い想いを伺いました。

■引き継ぐきっかけ■  
『本気でぶどうづくりを考え始めたのは、農業大学校を卒業する時ですが、今思えば、幼い頃に見た父のぶどうづくりがきっかけだったかもしれません。』

■目指す経営内容■  
『島根のぶどうと言えばテラウエアで、今後中心品目に変わりませんが、少しずつ規模を拡大し、新品种であるシャインマスカットなどを増やしていきたいと思っています。』

■伝えたいこと■  
『地域をはじめ全国の人に「大田のぶどう」を知ってもらえたら。今後はインターネットを使った情報発信なども考えたいです。』  
夢が広がる小野さんの今後の活躍に期待します。



めて栽培した「おおだ」の『ぶどう』を是非ご賞味ください。

大田市ぶどう生産組合の若手農家の皆さん（右から）  
宅和 健さん（41歳）  
小野 健さん  
原田武敏さん（29歳）  
坂根拓倫さん（29歳）

## お買い求めとお問い合わせ

テラウエア 2kg(11~14房) 3,000円

※送料は別途いただきます。

【インターネットでのお取り寄せは】  
<http://www.ja-town.com/shop/c/cginzan/>（JAタウン 銀山のおくりもの）

JA石見銀山 営農推進資材課 ☎0854-82-9070



## — 地域医療レポート —

全国的に医師不足による地域医療の確保が危ぶまれる中、大田地域の中核病院である大田市立病院においても、本年4月から外科及び整形外科の常勤医師が不在となり、外科・整形外科の手術や入院の受け入れが困難な状況に陥り、救急告示病院の指定を取り下げる事態となりました。

現在、外科系の疾患や骨折、交通事故等の高エネルギー外傷の患者さんは、救急車搬送も含め出雲市・江津市・浜田市などの病院へ行かざるを得ない状況です。

### 減り続ける勤務医…

大田市立病院は、国からの移譲を受け平成11年2月に開院以来、医療従事者の確保はもとより、医療機器等の設備も着実に整備する中で、地域住民の皆様の信頼も獲得し順調に推移してきたところですが、平成15年度に36名いた常勤医師が、今年度4月には21名にまで激減しました。

医師不足、特に地方部の基幹病院における勤務医不足は、島根県のみならず全国的な問題となっています。主な原因は、医師の卒後臨床研修制度の変更により、地方の大学を卒業した医師の卵たちが都市部の大学や病院で研修するため、都市部へと流出していることにあります。

### 県を挙げての取組み

こうした中、島根県においては、国の「地域医療再生計画」に基づき、医師を「呼ぶ」「育てる」「助ける」の三本柱を掲げ、島根大学を中心とした医学生や臨床研修医師の奨学金制度の拡充や、島根大学医学部への寄付講座の創設、また地域医療機関の医師確保対策への支援や“ドクターヘリ”の整備など様々な対策を講じています。



島根県 医師募集キャラクター「赤ひげ先生」

### 「ふるさと大田」の医療を守るため！

今、大田市では、この危機的な状況を地域一体となって乗り切るための取組みを始めています。市内の各種団体が一堂に会し、大田市地域医療支援対策協議会が設置され、大田の医療を住民サイドから支える活動が検討されています。また、大田市医師会先生方の輪番による「休日診療当番医」もスタートしました。

今後、市立病院としては、まずは内科系診療科の充実を図り、そして外科・整形外科医師の確保を目指し、一日も早い救急指定の復活に向け、院長を先頭に職員一丸となって取り組んでいきます。

### 『大田市の地域医療に関心のある医師をご紹介ください！』

※ 募集診療科、処遇ほか詳しいことは、下記担当までお問い合わせください。

大田市立病院 事務部 医療従事者確保対策室 (担当：和田、竹下)

TEL 0854-82-0330(代) / E-mail ohda-net@ohda-hp.ohda.shimane.jp

みなさん、今春はタケノコを食されましたか。春の味覚の代表のひとつが、竹の中でも最初に生えるモウソウチクのタケノコ。4月初めまで続いた寒さの影響なのか去年が豊作だったための「裏年」なのか、当地ではごくわずかししか採れませんでした。

4月29日(木・祝)、世界遺産センター初のイベントとして「石見銀山・タケノコ掘り大作戦」を開催し、募集受付した40名の参加者がこのモウソウチクのタケノコ掘りをしました。

実施した竹林は大森町銀山地区。タケノコは少ないとの心配をよそに81本も採れビックリ。家族連れなど、遠くは広島県や浜田市から、3歳から70歳代までの幅広い年代層の参加があり、作業をしながら会話ははずみ楽しい半日となりました。



今回のイベントを実施した目的は、世界遺産登録地区内の遺跡と竹林景観を保全するため、市民参加型でタケノコ掘りを体験し、保全活動のすそ野を広げることです。

石見銀山の中核である銀山柵内の植生をみると、45%を占める広葉樹の林に、竹林(25%)やスギ・ヒノキ植林(18%)が点在しているようです。山林の管理が行き届かないと、さまざまな弊害が出てきます。竹林は、人が山に入り、タケノコを掘って食用にしたり、成竹を切って建材や竹細工の材料に使ったりすることが本当に少なくなったため、密生や範囲拡大の現象が出ています。また、竹の地下茎が遺跡の地下遺構に悪影響も与えています。

このような現状を参加者に伝えるとともに、竹林保全の活動をされている方を講師に招き、ワークショップの時間を設けました。切った竹を破碎し「竹チップ」をつくる実演やチップの利活用方法、また、テングス病や竹林景観の保全についての意見交換も行いました。

継続は力なり、と言います。今後も遺跡と景観を良好な形で引き継ぐための取り組みを、住民と一緒に続けたいと考えています。

【問】 石見銀山世界遺産センター ☎0854-89-0183  
ホームページ <http://ginzan.city.ohda.lg.jp/>

## ちゃんぽし語録⑨

おじいさん (A) おばあさん (B)

### 【対訳】

A : そろそろ梅雨だいな  
B : はあそがな時期になあだな  
A : あんまり降ってごすりゃ、やれんことよ  
B : なんぼ雨が降っても休まりゃせんけえな  
A : そりゃそがだ。年を捨うても食べたりこくったりせにゃならんだけな  
B : よーに梅雨になる前に、ねぎの溝さらいをせにゃならんぞな  
A : そがだそがだ。ほいだが、今日は掃除したりこくったり忙しいけえ明日にしようや  
B : 何するにそがに忙しいだあ?  
A : そらこざこざがあるだに  
B : そがだかな。・・・そが言やあ「こくったり」ゆうて何だかいな?  
A : なに、「こくったり」!?そらー、あれ、あれだが……。  
えーい、いなげなこというなや!  
B : そがにどしならんでもいいだないかな!  
A : はて……、「こくったり」ちゆうて何だっただかいな……?

### (解説)

響きやリズムが面白い「～たり、こくったり」。「～たり」だけでも意味は通じるのですが、言葉の調子を整えたり、意味を強調する時に使います。とても柔らかい言い回しで、のどかな“おおだ”の雰囲気ピッタリ。聞くだけで気持ちや和らぎます。こうした言い回しや言葉のリズムは使わないと残っていきませんから、若い人にも積極的に方言を使ってほしいですね。

A : そろそろ梅雨ですね  
B : もうそんな時期になりますね  
A : たくさん雨が降ったりしたら、大変だ  
B : いくら雨が降っても休むことはできませんからね  
A : それはそうだよ。年をとっても食べていかなくちゃならないからね  
B : 本格的に梅雨入りする前に、家のそばの溝掃除をしないとイケませんよ  
A : それはそうだ。でも、今日は掃除などで忙しいから明日にしようよ  
B : 何をするのにそんなに忙しいんですか?  
A : そりゃあいろいろな用事があるんだよ  
B : そうですか。・・・そう言えば「こくったり」というのは何でしたっけ?  
A : なに、「こくったり」!?それは、あれ、あれだよ……。  
えーい、おかしなことを言うんじゃない!  
B : そんなに怒鳴らなくてもいいじゃないの!  
A : はて……、「こくったり」って何だっただけ……?



# みんな！ 待っとなるでな～

## 馬路乙見神社例大祭（大足半）



日時 10月10日(日) 予定  
 会場 仁摩町馬路地区内  
 輛ヶ浦12:30にスタートし馬路地区内を巡幸。乙見神社15:00到着予定  
 大足半（おおあしなか）は、長さ約4m、幅2m、厚さ40cmで、重さは350kgもあります。  
 [問] 馬路まちづくりセンター  
 ☎ 0854-88-9070

## 高野聖（こうやひじり）

日時 10月15日(金)  
 会場 喜多八幡宮、南八幡宮（大田町）  
 獅子舞を先頭に大幟、負幟、持幟、高野聖、花駕籠、曳き馬などが行列をつくって町を練り歩きます。島根県指定無形民俗文化財。  
 [問] 大田まちづくりセンター ☎ 0854-82-6240

## シッカク踊り

期日 10月17日(日)  
 会場 水上神社（水上町）  
 水上町の小学生が五穀豊穡を祈って踊りを奉納。平安時代（天永2年）に神戸の福原から分霊を移し祀った時、踊ったのが始まりとされている。島根県指定無形民俗文化財。  
 [問] 水上まちづくりセンター  
 ☎ 0854-89-0023



## 2010 三瓶高原クロスカントリー大会



緑のじゅうたんを  
 駆け抜ける高原の  
 風になるっ！

期日 8月16日(月) 雨天決行  
 会場 国立公園三瓶山西の原  
 三瓶高原クロスカントリーコース

参加料等  
 ★クロスカントリー（2km、3km、5km、8km）  
 一般：3,000円／高校生以下：1,000円  
 ★ウォークラン（1km、2km）  
 無料（当日参加可）

ウォークランは完走を目的とし、タイムはとりません。

参加資格 小学4年生以上で健康な人。ただし、5km、8kmへの出場は自己記録が5kmは35分以内、8kmは50分以内の方に限る。ウォークランは幼児以上（幼児は保護者同伴）で健康な人なら誰でも参加できます。

申込締切日 平成22年7月9日(金)  
 申込先 大田市教育委員会内  
 三瓶高原クロスカントリー大会事務局  
 ☎0854-82-1600（内線313）

※詳しくはホームページをご覧ください  
<http://www.city.ohda.lg.jp/441.html>

## 道の駅『ロード銀山』が誕生!!

5月1日(土)、『ロード銀山』（大田市久手町国道9号沿い）が大田市内初となる道の駅としてリニューアルオープンしました。初日には、開設イベントがあり、紅白餅、卵かけごはん、箱寿司が来場者に振舞われました。また、この日は生鮮野菜などの特産品販売の特設テントがたち、多くの方で賑わいました。

今回の登録に併せ、ロード銀山の物品販売スペースをリニューアルし、大田市の特産品がより引き立つようなレイアウトになりました。また、青竹踏みコーナーや、畳敷きの休憩所（右写真）を設けるなど、リラックスしていただけるような施設として工夫しました。

また、平成23年4月から敷地内に農産物の産地直売所を開設する予定となっており、さらに充実した道の駅となるように計画しています。

大田市の特産品、観光施設のパンフレットも揃えてありますので、お近くにお越しの際は是非ご利用ください。



【問い合わせ先】 ロード銀山  
 ☎ 0854-82-1991  
 ホームページ <http://www6.ocn.ne.jp/~furusato/>  
 定休日 水曜日

大田市役所産業振興部大田ブランド推進室 ☎ 0854-82-1600（内線244）



# おおだ情報BOX

## 小笠原流大代田植囃子

期日 7月17日(土) 予定  
 会場 大代町  
 石清水八幡宮をスタートし、大代まちづくりセンターまで町を歩きます。大田市指定無形民俗文化財。  
 [問] 大代まちづくりセンター  
 ☎ 0854-85-2204

## 三瓶体験子どもツアー

日時 8月8日(日)から9日(月)  
 会場 三瓶山周辺ほか  
 参加費 15,000円程度  
 定員 25名 ※要予約  
 満天の星空と森の昆虫たちが待っている小学生対象の広島発着ツアー。芸備線、三江線のローカル列車に乗り、三瓶山を目指すウォーキング、そしてテント泊体験など盛りだくさんのツアーです。  
 [問] 三瓶自然館サヒメル  
 ☎ 0854-86-0500



## 海神楽

期日 8月13日(金) 予定  
 会場 福光海水浴場(温泉津町)  
 ※雨天の場合は温泉津まちづくりセンターが会場となります。  
 日本海に沈む夕日やかかり火、打ち寄せる潮騒をバックに繰り広げられる舞は必見です。  
 [問] 小林工房  
 ☎ 0855-65-2565

## 琴ヶ浜盆踊り

日時 8月13日(金)・14日(土)・15日(月)  
 3日間とも21時頃～  
 会場 琴ヶ浜(仁摩町)  
 太鼓の音と口説きが夜空に響き、鳴り砂で有名な琴ヶ浜海岸を会場に優美な盆踊りが行われます。  
 大田市指定無形民俗文化財。  
 [問] 馬路まちづくりセンター  
 ☎ 0854-88-9070



## ダッチオープン・キャンプ・セミナー

日時 9月11日(土)から12日(日)  
 会場 三瓶山北の原キャンプ場  
 参加費 未定  
 定員 20組 ※要予約  
 アウトドアライフが一層楽しくなるダッチオープンを使った調理を体験するキャンプ教室。ダッチオープンは工夫ひとつで様々な調理が可能なアウトドア用の調理具です。  
 [問] 三瓶山北の原キャンプ場  
 ☎ 0854-86-0152

## 秋の彼岸市「中日つあん」

期日 9月23日(木)・24日(金)  
 会場 大田市駅前通り、大田市民会館駐車場など  
 大田市駅前通りの両側に約300の露店が立ち並びます。  
 [問] 大田商工会議所  
 ☎ 0854-82-0765





# うきぬのいけ 浮布池【三瓶町池田】

浮布池は南北約750m、東西約400mの広さを持つ天然湖沼です。この湖は、684年、四国の土佐沖を震源地とした白鳳地震の際に、親三瓶と子三瓶の峯の間が崩壊、溪流をせき止めて出現したとされています。

池には大蛇にまつわる伝説があります。

『池のほとりに住んでいた美しい姫が、青年の姿に変身した大蛇に恋するようになった。ある日そこを通りかかった弓の名手が大蛇と一緒にいる女性を見かけた。その女性の顔に凶相が表れているように見え、「助けねばならない」と感じた名手が弓を引き、弓は大蛇に命中し、池に消えた。姫は青年の後を追って池に身を投げた。姫が身を投げたと言われる7月15日に、毎年池の北汀にある鳥居から中の島の瀬幣姫神社にかけ幅2メートルの白い波の道が立ち、その様は着物が湖面を漂っている姿に見える』という浮布池の名の由来です。

浮布池のこの伝説を知る人は少なくなっていますが、毎年7月中旬に行われる祭りは今も続いています。

一昨年から地元のまちづくり推進協議会が、浮布池の保全と周囲の景観を復活させようと、池のほとりから三瓶山の全貌が見渡せるように整備し、桜の植栽も行いました。三瓶の賑わいの創出に向け改めて取り組みが始まりました。



浮布池展望所からの眺め



展望所を整備して、みなさんをお待ちしています。

## ふるさとは今

### ■ 浮布池への行き方 ■

県道三瓶山公園線（県道30号）を大田町方面から三瓶山を目指して進むと、浮布池の道路看板があります。（三瓶山西の原の約1km手前）道路看板を右折し0.5kmほど道なりに進むと正面に浮布池が見えてきます。JR大田市駅から車で約25分。

詳しくは池田まちづくりセンター ☎0854-83-2168

### 表紙

## あの頃 ～温泉津温泉街(昭和29年)～

表紙と右の写真は、昭和29年4月1日に旧温泉津町・湯里村・福波村・井田村が合併し、新しく温泉津町が誕生したお祝いの仮装行列です。4地区それぞれが仮装をして、温泉街を歩いたそうです。



▲ 現在

女装している人やお面をかぶっている人、はしゃいでいるその姿が滑稽でとても楽しそうです。温泉津の町のにぎわい、町をあげての行進に往時の人々の勢いを感じます。

当時の人口は温泉津町全体で12,065人（昭和29年5月1日）、現在は3,552人（平成22年4月末）と今の約3倍でした。

昭和の大合併といわれるこの年、県道温泉津隧道開通・温泉津町消防団発足・農業委員会合併と沢山の出来事がありました。

石見銀山で採掘された銀の積み出し港として栄えた温泉津。現在は、世界遺産登録により再び脚光を浴び、温泉街には連休ともなれば沢山の観光客が訪れます。昔ながらのしっとりとした静かな佇まいを残しながらも更に輝き続けます。



表紙とこの写真は長野矩廣さん(温泉津)からご提供いただきました

この情報誌は定住促進を目的に発行しています。

発行 / 大田市役所総務部まちづくり推進課 TEL:0854-82-1600 FAX:0854-82-5885

〒694-0064 島根県大田市大田町大田口1111番地 E-mail: o-matidukuri@iwamigin.jp <http://www.city.ohda.lg.jp/>  
“おおだ”の定住サイト「どがどが」 <http://www.teiju-ohda.jp/>

どがどが 検索